



緑の相談所の役割とあり方を考える

第3回 「収集・保全と共有・共感」

京都府立大学大学院
生命環境科学研究科 特任教授 下村 孝

「緑の相談所—都市緑化植物園—の設置及び運営について、昭和50年9月26日、都道府県知事指定市長あて建設省都市局長通達」（以下、通達）には、教材園に「紅黄葉樹」見本園の設置が求められています。

奈良県宇陀市に、奈良カエデの郷ひらら（以下、ひらら）があります。緑の相談所—都市緑化植物園—（以下、相談所）ではありませんが、プロの料理写真家・矢野正善氏が収集・栽培していたカエデ属（*Acer*）の原種・品種合わせて1,200種類、3,000株を市に寄贈し、その保全・管理と教育および研究などを目的として廃校した小学校を利用して開設されました。ほぼすべての株にラベルが付けられ、世界的にも価値のある見本園です。矢野氏は、2003年にわが国自生のカエデ37種とその品種400余の写真を日本語・英語併記で解説した著書を出版し、国内外から注目を集めています。ひららには、同氏寄贈のカエデ関連図書を含む蔵書1万冊を擁する玩槭（がんしゅく）文庫もあり、カエデ属に関する知識の普及にも貢献しています。園内では、その矢野氏が、気さくに対応して解説してくれるため、来訪者の満足度も高く、普及効果も大きいといえます。カエデ類に限定とはいえ、これほど充実した紅黄葉樹のコレクションを整えることは、他府県の都市緑化植物園にもなかなか難しいのではないのでしょうか。

各地の相談所が、ひららに関する情報の紹介やコレクションの受け入れ・交換などの方法で、「都市住民の深い理解」（通達）を醸成する見本園を共有することで、都市住民の理解と共感が深まり、緑化の機運が高まることを期待したいと思います。



奈良カエデの郷ひららの見本園（一部）。紅葉の盛期はやや過ぎている。



サクラソウの展示。姫路市手柄山中央公園・緑の相談所 提供

カエデ類に限らず、わが国では、独自に改良や選抜を経てきた伝統的な観賞用植物（古典園芸植物など）が人々の生活を彩ってきました。相談所の中には、独自にそれらのコレクションを守り育て、季節ごとに展示会を開いて来園者を楽しませている所もあります。

姫路市手柄山中央公園・緑の相談所では、相談所に近接するバックヤードに、サクラソウ（ニホンサクラソウ）の150に上る品種のコレクションが、代々の職員の手による保全・管理でひき継がれているとのこと。もちろん、品種のリストは整備され、例年4月の展示会に出品される品種の入れ替えなども配慮されているようです。植物の保全のみならず、栽培管理の知識や技術も引き継がれ、相談業務にも活かされていると思われ、貴重な財産といえるでしょう。

近年、指定管理制度の導入で、維持管理主体の継続性が保てない不安が現実のものとなっています。その場合にも、時を経て維持されてきたコレクションが変わりなく役割を果たすことができるような収集・保全のシステムが構築されることを望みたいと思います。

なお、日本植物園協会は、今年から、イギリスの制度にならひ、原種、栽培品種を問わず「日本で栽培されている」「貴重な植物を守り後世に伝えていく」ための「ナショナルコレクション認定制度」を開始しました（<http://www.syokubutsuen-kyokai.jp/nc/>）。上の例の他、各地の相談所や、相談所の依頼で出展される愛好家・愛好団体などのコレクションについて、この制度を契機に、改めて保全や収集さらには公開のあり方を検討されることになれば、新たな局面が見えてくるのではないかと、勝手な考えに浸っています。



2017ひょうごまちなみガーデンショーin明石 開催報告



9月23日～10月1日の9日間、明石公園を中心に明石のまちなみを花と緑で彩るガーデンショーが開催されました。

作品を競い合うガーデンコンペ・ひょうごのガーデン部門「まちなみガーデン」「寄せ植え」「ミニ寄せ植え」「ハンギングバスケット・壁掛け、額縁型プランター」と、写真部門の「コミュニティ・職域緑化」「家庭緑化」「学園緑化」をはじめ、県内農業高校11校の出展によるアグリハイスクールガーデン、体験教室、雑貨・飲食店舗、体操・ライブなどイベントも豊富で来場者に楽しんでいただきました。

ガーデンコンペ各部門兵庫県知事賞の紹介

ガーデン部門

今回の応募作品数は359点でした。各部門とも認知が伸び、作品も年々発展し、作品数も増えています。

その中で、コンペの各部門最高位となる兵庫県知事賞を受賞された作品をご紹介します。
(敬称略)



まちなみガーデン部門
緑のしずく会(加古川市)



寄せ植え 栗山 千恵子(小野市)



ミニ寄せ植え 北川 八重子(加西市)



ハンギング・壁掛け・額縁型プランター
太田 よしの(香美町)

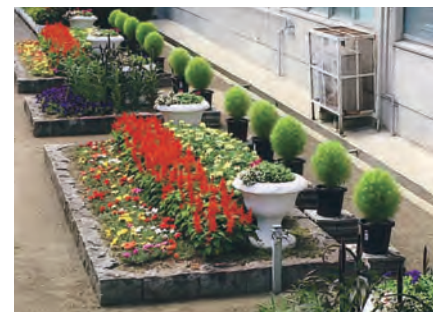
写真部門



コミュニティ・職域緑化
すみよいカルチャータウンをつくる会
コミュニティガーデンふる(三田市)



家庭緑化
中谷 邦子(豊岡市)



学園緑化
尼崎市立南武庫之荘中学校



明石フィルハーモニー管弦楽団の演奏



ベゴニア植物コンテスト展示



キッズフラワーファッションショー



体験教室での小物作りなど多様がありました

オープニングセレモニーでは、明石フィルハーモニー管弦楽団(たこフィル)の演奏ではじまり、ひょうごまちなみガーデンショー実行委員会竹本委員長より開催の挨拶がありました。

明石公園をメインに、明石駅構内・外にPRガーデン、明石市立花と緑の学習園、中崎公会堂をサテライト会場としデモンストレーションガーデンを展示しました。

左ページで紹介したガーデンコンペだけでなく、今回は企業協力によるコラボでベゴニア植物コンテストと言う新企画も行いました。

また、植栽展示だけでなく東芝生広場では、来場者が気軽に参加できる体験イベント、ミニコンサートなども連日行われ、飲食・雑貨物販も賑わいがありました。

期間中はガーデンコンペ出展者、体験教室の開催者や、テナント出店者の皆様、ガーデンショーを計画から支えていただきました関係者様、また、多数のボランティアの方々にご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。



サテライト会場 花と緑の学習園



サテライト会場 中崎公会堂



東芝生広場の雑貨・飲食店・体験教室



農業系高等学校の物産販売

最終日の”花と緑のまちづくりセミナー”では、滋賀県米原市にあるイングリッシュガーデン、ローザンベリー多和田(株式会社メリーデイズ)代表 大澤恵理子氏により「私が安らげる庭」と題し、2003年の開園からの自然と向き合ってきた苦勞とやりがいについての講演を聞きました。続いてひょうごガーデンマイスター高嶋清子氏・加賀文代氏を交え「庭づくり・花作りのまちづくり」トークショーが軽快に行われ220名余りの参加者も聞き入っていました。その後の表彰式では、兵庫県知事賞・兵庫県議会議長賞・明石市長賞の各賞の授与が滞りなく行われました。



講演風景



左より、高嶋氏 大澤氏 加賀氏

花緑団体の紹介

祝！第27回全国花のまちづくりコンクール大賞・優秀賞受賞

今年度の、全国花のまちづくりコンクールに、兵庫県から受賞された方々をご紹介します。

花のまちづくり大賞 国土交通大臣賞

すみよいカルチャータウンをつくる会
コミュニティガーデンふるる（兵庫県三田市）
《団体部門》

【設立の経緯】

ニュータウンが出来てから、新しく人との出会いをつくる手段はないものかと考えていた時期に開発元のよびかけで、「花を介して仲間づくりをしよう。花壇の花を見に来られる人と交流を広げられるのではないかと」ガーデンクラブづくりに参加。2005年すみよいカルチャータウンをつくる会を立ち上げコミュニティガーデンクラブをつくりました。

【主な活動】

毎週1回2時間程度の作業日に維持管理だけでなく、参加者の健康・相談ごと・情報の交換などティータイムの話題とします。

ガーデンでは年間事業として子供たちに原風景となるべく花見・七夕・月見（芋煮会）・クリスマスキャンドルの夕べなど開催。

ここでは農薬は使わず、昆虫観察やシジューガラの子育ても身近に観察できます。

園路づくりも子供たちと手造りを楽しんだり、大学生もガーデンを楽しんでくれます。

【大賞受賞と今後の課題】

今回の受賞により、健康福祉の関係からガーデンを利用できないかとの相談があり新しい方面にも積極的に協力を考えてみるつもりです。

「全国花のまちづくりコンクール」とは

提唱：農林水産省及び国土交通省 設立：1991年
目的：際花と緑の博覧会（花の万博・1990年・大阪市）の基本理念「自然と人間との共生」を継承して花のまちづくりを国民的な市民運動として普及、定着させること。
内容：全国各地で取り組まれている花や緑による優秀な活動を顕彰し、広く紹介する。
4部門（市町村部門、団体部門、個人部門、企業部門）で行われている。



全国花のまちづくりコンクール」審査基準 詳しくは「全国花のまちづくりコンクール」HPへ

項目	審査の観点
快適な生活環境づくり	地域の緑を大切に育みながら、街並みの景観を損ねる散乱ごみや屋外広告などを積極的に整理するように心がけて活動し、潤いと豊かさが感じられる快適な生活環境づくりや風景づくりがされているか。
エコロジー	環境にできるだけ負荷をかけないような活動や身近な自然を大切にした取り組みが行われているか。
花による表現	まちらしさ（地域性）の演出に花がうまくいかされているか。また、地域の歴史的・文化的資産が花のまちづくりにいかされているか。
花のデザイン	花や緑が周辺の風景や街並み、建物と調和し、花壇の花の配置や色使い、季節の演出などがセンスよくデザインされているか。
栽培状況	花殻や生ごみなどを土づくりにリサイクルしたり、農薬などをできるだけ使わないようにしたりして、環境に配慮した取り組みがされているか。また、花の生育特性を考慮して草花を植え、花や緑が健全に生育しているか。
活動状況	花のまちづくりにおいて、住民（企業を含む）と行政のパートナーシップ、住民同士の連携などが図られ、公共性の高い場所や地域に向けた場所での活動、オープンガーデンなどが実施され、それらが長続きし、発展するように取り組まれているか。
地域の活性化	活動によって地域の振興や活性化などにつながる波及効果が見られたか。

花のまちづくり奨励賞 審査委員会賞

東古瀬こども園（兵庫県加東市）《団体部門》

【設立の経緯】

「幼児教育を考える手をつなぐ花の会」に参加し、今日もよい保育をしましょう。今日も美しい花を育てましょう。今日も素晴らしい環境づくりに励もう。の実践を昭和51年(1976年)より始め、幼児のための豊かな環境づくりに取り組んでいます。

【主な活動】

春夏は新緑と花々の芽吹き、秋はアメリカフーの色づき黄・橙・赤の葉が舞い散る美しさ、冬は厳しい寒さに耐える苗、園庭には感動が一杯です。四季折々の自然と子どもの出会いは子どもの心を揺り動かします。その実践は命の大切さを学ぶ教育活動です。

【大賞受賞と今後の課題】

「継続は力なり」ひょうご花と緑のコンクール時代から応募を続け、たゆみなく積み上げた成果が受賞に繋がったのではないかと思います。花に囲まれ笑顔いっぱいの子どもたちと共にこれからも花と語らう喜びを味わっていきたくと思います。



パナソニック洲本園芸部（兵庫県洲本市）《企業部門》

【設立の経緯】

平成10年(1998年)、構内に四季折々の草花を開花させることにより、従業員の心を和ませ、働き甲斐のある職場づくりと地域の共生を図ることを目的に会社内の部活動として結成致しました。

【主な活動】

工場構内やオープンスペースとなっている多目的ホール前の花壇、県道横のサンガーデンを中心に四季を通じていつでも花が咲いていることを目標にがんばっています。また4月にはオープンガーデンへ参加、6月には除草ボランティアなどを行い地域の方々との交流を図っています。

【大賞受賞と今後の課題】

今回の受賞による交流会で、がんばっているの方々にお会いでき、刺激を受けました。仕事との両立ということで、時間等に制約はありますが、今回の受賞を機に活動がマンネリにならないようにも見直し、わたしたちにもっとできることがあるとの想いを新たに致しました。





グリーンメッセージ



グリーンインフラとは？

兵庫県参与 (花と緑のまちづくり推進担当)

(公財)兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長

石原 憲一郎

近年、国内外で地球温暖化等により巨大な台風や猛烈な集中豪雨により建物崩壊や倒木、土砂災害・河川の氾濫などで、人命が犠牲となり地域崩壊に繋がると言ったニュースも記憶に新しいです。

こうした自然環境変化の中、生態系ネットワークを保全・再生するとともに、生態系サービスを活用した災害対策や、まちづくりの取り組みが注目されています。特に都市部は、ヒートアイランド現象や局地的集中豪雨による災害が際立ち、その対策が求められています。

“グリーンインフラ”とは、欧米で注目されており、都市に発生する問題を、人工的な都市基盤“グレーインフラ”だけでなく、植物(グリーン)の力を活用して解決しようとするもので、環境保全、まちづくり、災害対策など、様々な分野を融合する新しい概念として生まれたものようです。



アメリカの住宅地 雨水流出抑制効果

日本では、「緑の基本計画(都市緑地法第4条)」の規定があり、自治体が、緑の保全や緑化の推進に関して、その将来像や目標、施策などを定めることとなっています。具体的には、景観、環境、防災対策、レクリエーションなどの観点から地域ごとに緑の将来像を描くこととしており、その策定に当たっては、公聴会の開催など

住民の意見を反映させるため必要な措置を講じることとなっています。

都市基盤を緑化し機能させることで、より多くの便益を受けることになる点では、“グリーンインフラ”も“緑の基本計画”も同じですが、グリーンインフラのほうが、言葉の目新しさと雨水貯留や流出係数の低減など、都市災害軽減効果を前面に打ち出していることで、よりふさわしく聞こえるのかもしれませんが。緑の基本計画は、とすれば緑の中核施設である都市公園が中心的に取り扱われている一面もあり、計画の一部としてグリーンインフラという概念で、全行政的な視点での編集、実現のための具体的アクションプランも合わせて策定するという位置づけかなと考えています。

兵庫県が平成18年から創設した「県民緑税」の事業の一つである「県民まちなみ緑化事業」は、まさに、グリーンインフラを実現するきっかけとなる事業の一つですが、緑化の目的や事業内容をさらに精査し、その土台としての存在意義が高まるように改善する必要があると感じています。特に、局地的集中豪雨による雨水貯留機能向上のための基盤材の導入など地表面の緑だけでなく、基盤部分も含めた緑地の創出や改造が求められているのではないのでしょうか。



グリーンインフラによる場の価値向上イメージ

ほっと

●●● 相談員ニュース ●●●

ラケナリアの魅力と育て方

緑の相談所長 若松 康史

ラケナリアとは

ラケナリア(*Lachenalia*)属は、キジカクシ科の球根性多年草で、南アフリカに約90種類が分布しています。外見がヒヤシンスに似ていることから、アフリカヒヤシンスという別名があります。種類は通信販売が多いですが、ホームセンター等での取り扱いも増えてきています。

色・形のバリエーションが豊富

様々な花色があり、1個の花が2色以上持つ種類もあります。また、アロイデスの変種、ヴァンジリアエ(*L. aloides* var. *vanzyliae*)やヴィリディフロラ(*L. viridiflora*)のような、草花にはあまり見られない青から緑の花色を持った種類もあります。特にヴィリディフロラはヒスイカズラのような金属的な輝きを持ち、家庭でもその美しさを十分に楽しむことができます。また、肉厚で光沢のある葉には斑が入る種類もあり、開花するまでの姿も観賞価値があります。



ブルーグリーンの花色が特徴の
ヴィリディフロラを使った交配種で12月に開花する。

栽培の注意点

南アフリカ原産のため、冬から春の生育期は温暖で、夏から秋の休眠期は乾燥した環境を好みます。わが国では開花後から休眠の期間は高温・多湿条件となり球根の腐敗を招きやすいので、球根が隠れる程度の浅植えとします。強い霜に当たったり、-5度まで下がると凍害を受けます。例えば、屋外でゼラニウムが冬越ししている場所であれば問題なく育ちます。内陸部や標高の高い地域では12月から3月は日の当たる室内の窓辺で管理してください。日中の高温(25度以上)は徒長の原因となりますので注意してください。花が終わった後は液肥などで追肥します。葉が黄色くなれば水を切って休眠させます。球根は比較的小型で乾燥しやすいので、鉢ごと9月頃まで雨の当たらない風通しの良い場所に置いてください。



種類によっては葉に斑が入り、
多肉植物のような質感もあって楽しめる。

園芸相談コーナー

10:00~12:00

13:00~16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078(918)2405

Fax 078(919)5186

写真や実物をご持参いただきますと、
お話ししやすくなります。

*年末年始 12/29 ~ 1/3 はお休みです

公園名	イベント名	日時	イベント内容
フラワーセンター TEL 0790-47-1182	お正月特別開園 	1/2(火)～4(木) 9:00～16:00 (入園は15:00まで)	<ul style="list-style-type: none"> あったか食べ物販売(甘酒、焼そば、うどん、焼き芋) お楽しみ抽選会 びんごウォーキング お買得「花の福箱」2,018円で販売 おもしろ自転車に初乗り ふわふわ遊具で遊ぶ
舞子公園 TEL 078-785-5090  旧木下家住宅	舞子海上プロムナード 正月特別営業	1/1(月) 6:30～12:00 (最終入館 11:30) 1/2(火)、3(水) 10:00～15:00 (最終入館 14:30)	正月三が日、舞子海上プロムナードを特別営業致します。元旦には海上4.7mから初日の出を見ることが出来ます。 
	絵馬を書こう!	1/1(月)～1/21(日)まで (休館日を除く)	「世界一長い吊り橋」にあなたの願い事を書いた絵馬カードが飾られます。
	旧木下家住宅 青松庵お茶会	1/13(土) 10:00～15:00	松の見えるお茶室でお茶会を開催。日頃お茶に馴染みのない方でもお気軽にご参加頂けます。 参加費500円(入館料別、48名) 入館料大人100円、70歳以上50円、高校生以下無料
	数寄屋セミナー	1/17(水) 13:30～15:00	日本家屋には欠かせない床の間を起点にして、お正月のしつらえの説明やお道具についての解説をお聞き頂けます。 参加費500円(入館料別、20名) 入館料大人100円、70歳以上50円、高校生以下無料
赤穂海浜公園 タテホわくわくランド TEL 0791-45-0800	お正月タテホ 子どもわくわくフェスタ 2018	1/2(火)～4(木) 10:00～16:00 お菓子まき大会 12:00 餅まき大会 14:00	甘酒の無料振る舞い(1日100名) 縁日ハピネスカーニバル お菓子まき・餅まき大会 
丹波並木道 中央公園 TEL 079-594-0990	ぜんざいのふるまいと凧づくり 	1/7(日) 12:30～15:00 (凧作りは13:30～)	かやぶき民家にて、公園で収穫した赤米を使ったお餅入りぜんざいのふるまい(先着50名)と、簡単な凧作りを行います。 参加費 凧作り200円 申し込み不要、ぜんざいのふるまいは先着順(なくなり次第終了)
国営明石海峡公園 TEL 0799-72-2000	あわジオフェスティバル 	12/9(土)～1/14(日) 10:00～16:00	ピジター棟では、人気のティラノサウルスの化石レプリカやリアルな復元模型などの展示や、木工クラフトなどの体験イベントも開催。 また、芝生広場では、40メートル四方のユニバーサル巨大迷路が登場!

平成28年度 園芸教室(1月～3月)

場所：明石公園花と緑のまちづくりセンター研修室

実施日	タイトル	講師名	開催時間	参加費【円】	申込開始日
1月7日 日	◆明石公園の自然観察⑦	兼光たか子	10:00～	100	12/15～
14日 日	◆見直そう! 和・洋ハーブ④ ～冬に活躍するハーブ～	星川 雅子	13:30～	1,000	
26日 金	植物栽培は土壌づくりから	吉倉淳一郎	13:30～	100	1/4～
2月2日 金	鉢物園芸 ～洋ラン・クリスマスローズ～	若松 康史	13:30～	100	1/15～
4日 日	◆明石公園の自然観察⑧	兼光たか子	10:00～	100	
16日 金	バラの手入れ・剪定 <冬> ～鉢植えのバラの管理～	山田 益男	13:30～	100	2/1～
18日 日	◆原木きのご栽培にチャレンジ① <しいたけ>	仲 秀雄	13:30～	800	
23日 金	家庭果樹の作り方② ～ブルーベリー・イチジクの管理と接ぎ木～	荒木 齊	13:30～	100	2/15～
3月4日 日	◆明石公園の野草を見る・楽しむ・学ぶ④	高野 哲司	10:00～	100	2/15～
18日 日	◆原木きのご栽培にチャレンジ② <なめこ>	仲 秀雄	13:30～	800	3/1～

■お申し込み・お問合せ■ 花と緑のまちづくりセンター / TEL:078-918-2405 *お申し込み開始日、午前9時より先着順
◆印は、受講対象者が小学生以上です。(尚、小学生は、保護書同伴でお申し込みください。)

★年末年始の園芸相談コーナーは、12月29日(金)より1月3日(水)まで、お休みしております。4日(木)より通常通り、相談受付けております。
園芸相談コーナー 10:00～12:00 13:00～16:00 火曜日を除く毎日 TEL:078-918-2405 FAX:078-919-5186
写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。

花と緑のまちづくりセンターだより 43号

- 平成29年12月31日発行(年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info_midori@hyogopark.com